

モンゴル帝国と元寇

名前 _____

_____ 月 _____ 日

旧石器

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

今日の問い

モンゴル帝国はどのように広がり、元軍の襲来に幕府はどう立ち向かったのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 モンゴル帝国と東西の交流

世界の動き

- 1 13世紀の初め、モンゴルの諸部族を統一し、モンゴル帝国を築いた。13世紀の初め、¹ チンギス・ハン はモンゴルの諸部族を統一し、² モンゴル帝国 を築いた。帝国はユーラシア大陸の東西にまたがる大帝国となった。孫の³ フビライ・ハン は国号を⁴ 元 と改めて都を⁵ 大都 (今の北京)に置き、朝鮮半島の⁶ 高麗 を従えた。元はのちに中国の南宋もほろぼし、中国全土を支配した。
- 3 チンギス・ハンの孫。国号を元と改め、都を大都に置いた。
- 4 フビライ・ハンが国号を改めた国。都は大都(今の北京)。
- 7 元を訪れたイタリアの商人。旅の記録で日本を「黄金の国」と紹介した。
- モンゴル帝国の時代には各地を結ぶ道が整えられ、東西の人や品物、文化の行き来がさかんになった。元を訪れたヴェネツィアの商人⁷ マルコ・ポーロ は、旅の記録で日本を「黄金の国」と紹介した。フビライは日本にもたびたび使者を送り、元に従うよう求めた。海でへだてられた日本も、この大きな動きと無関係ではいられなくなった。

2 元寇 — 文永の役と弘安の役

元軍との戦い

- 8 元の服属要求を拒んだ、鎌倉幕府の執権。執権の⁸ 北条時宗 が元の要求を拒むと、1274年、元と高麗の軍は対馬・壹岐をおそい、九州北部の博多湾に上陸した。これを⁹ 文永の役 という。御家人は、元軍の¹⁰ 集団戦法 や、火薬を使った武器の¹¹ てつほう に苦戦したが、元軍は短い期間で引きあげた。
- 14 文永の役と弘安の役、2度の元軍の襲来をまとめた呼び方。
- 12 幕府が博多湾の沿岸に築いた石の防壁。石塁ともいう。
- 幕府は御家人に九州北部の沿岸の警備を命じ、博多湾の沿岸に石の¹² 防塁 (石塁)を築いて備えた。1281年、元は再び大軍を送ったが(¹³ 弘安の役), 防塁や御家人の抵抗にはばまれて博多湾岸に上陸できず、暴風雨で大きな損害を受けて退いた。2度の襲来をあわせて¹⁴ 元寇 という。

できた / 14